周南公立大学 図書館空調機更新

1. 件 名 周南公立大学 図書館空調機更新

2. 概 要 次に掲げる機器の納品、設置及び既設空調機の撤去処分

(1) 図書館1F 室外機1台、室内機11台

(2) 図書館 2F 室外機1台、室内機9台

3. 納入場所 山口県周南市学園台843-4-2

公立大学法人周南公立大学 図書館

4. 納入期限 令和8年3月25日

5. 設置概要 図書館1F、2Fの空調機を入替するものである。

下記「機器規格」に示す物品若しくは同等品を調達し、搬入・設置の上、試運転を行うものとする。なお、空調機器以外の冷媒配管・ドレン配管・操作線・電源線は流用する為、既存配管・操作線等と互換性を有する機種とする。また、既設空調機の撤去及び処分を含むものとする。但し、室外機の屋外冷媒配管のSUSラッキングは空調機更新後にSUSラッキング仕上げにて新しく施工すること。

天井補修が必要な場合は天井補修を実施すること。

室外機搬入搬出時にはレッカー作業となるので周囲の安全を考慮し作業を実施すること。 レッカー作業は休校日に実施して頂く事を希望します。

6. 機器規格 1) 場所: 図書館 屋上

形状: 更新用ビル用マルチ (付属: 防振架台)

台数: 1台

冷房能力: 90.0 k w 暖房能力: 100.0 k w APF (2015) : 6.7以上

電源: 三相 200 V 60Hz

参考機種: RQUP900FC (ダイキン工業㈱製)

2) 場所: 図書館 屋上

形状: 更新用ビル用マルチ(付属:防振架台)

台数: 1台

冷房能力: 73.0 k w 暖房能力: 82.5 k w APF (2015): 6.5以上

電源: 三相 200 V 60Hz

参考機種: RQUP730FC (ダイキン工業㈱製)

3) 場所: 図書館1F

形状: ビル用マルチ室内機 天埋込カセット形4方向タイプ

台数: 5台

冷房能力: 9.0 k w 暖房能力: 10.0 k w

電源: 単相 200 V 60 Hz

参考機種: FXYFP90EB (ダイキン工業㈱製)

4) 場所: 図書館1F

形状: ビル用マルチ室内機 天埋込カセット形4方向タイプ

台数: 4台

冷房能力: 8.0 k w 暖房能力: 9.0 k w

電源: 単相 200 V 60 Hz

参考機種: FXYFP80EB (ダイキン工業㈱製)

5) 場所: 図書館1F

形状: ビル用マルチ室内機 天埋込カセット形4方向タイプ

台数: 1台

冷房能力: 7.1 k w 暖房能力: 8.0 k w

電源: 単相 200 V 60 Hz

参考機種: FXYFP71EB (ダイキン工業㈱製)

6) 場所: 図書館1F

形状: ビル用マルチ室内機 天埋込カセット形ダブルフロータイプ

台数: 1台

冷房能力: 9.0 k w 暖房能力: 10.0 k w

電源: 単相 200 V 60 Hz

参考機種: FXYCP90EB (ダイキン工業㈱製)

7) 場所: 図書館2F

形状: ビル用マルチ室内機 天埋込カセット形4方向タイプ

台数: 9台

冷房能力: 8.0 k w 暖房能力: 9.0 k w

電源: 単相 200 V 60 Hz

参考機種: FXYFP80EB (ダイキン工業㈱製)

7. 設置内容

- 1) 室内機・室外機は既設空調機と同じ場所に設置する。
- 2) 既設冷媒配管・ドレン配管・電源線・操作線を流用とする。
- 3) リモコンは各部屋につき1個設置する。集中リモコンは2階図書館内に設置する。 リモコン設置場所は既設と同じ場所とする。

集中リモコンにて個別運転 (個別温度設定)・一括運転・停止機能を有し 画面はカラー表示であること。

今回更新する空調機以外も既存集中リモコンで運転管理している為、既存空調機が 新しく設置する集中リモコンで管理できない場合は既存集中リモコンを残し 新しく集中リモコンを設置するものとする。

- 4) 室外機の搬入・搬出時は重機・仮設荷役を使用する場合、人工芝・タイル・ 側溝等を傷めない様に十分に養生を実施して作業すること。
- 5) 屋外冷媒配管の既設SUSラッキングは撤去し、空調機を更新した後にSUSラッキング仕上げにて施工とする。
- 6) 冷媒ガス (フロンガス) は法規に基づき処分すること。
- 7) 気密試験は規定耐圧にて12時間以上実施のこと。

8. その他

- ・設置、動作確認等の日程については本学との協議の上決定する事。
- ・搬入出経路および方法については施設・設備に損害を与えぬよう十分に注意 すること。万が一損害を与えた場合は受注者の負担において速やかに原状回復 を行うこと。
- ・気密試験後に既存冷媒配管からのガス漏れが発覚した場合は本学と 協議の上、配管のガス漏れ修繕もしくは新設し対応すること。 この費用については本学と協議の上決定することとする